

令和7年度第2回守山市図書館協議会 議事録（要旨）

○ 日 時 令和7年11月6日（木）
開会時刻 午後2時00分
閉会時刻 午後4時00分

○ 場 所 守山市立図書館 多目的室

○ 出席委員等	会 長 岸 本 岳 文	副会長 佐 伯 一 惠
	委 員 小 村 みゆき	委 員 寺 井 信 義
	委 員 梅 景 敬 子	委 員 村 瀬 幸 子
	委 員 浅 田 紀代子	委 員 真 弓 美矢子
	委 員 山 田 均	委 員 田 中 良 信
	委 員 原 田 幸 子	

○ 事務局職員および説明員

教育部長	神 藤 高 敏	教育部次長	中 野 浩
図書館館長	西 村 克 子	図書館副館長	佐 藤 志 歩
図書館管理係長	天 谷 真 彦	図書館運営係長	井 澤 知 恵

1 開会

<事務局>

本日は、公私何かとご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただ今から、令和7年度第2回守山市図書館協議会を開会させていただきます。

000700

2 会長あいさつ

皆さんこんにちは。

先日図書館友の会の映画上映会がありました。たくさんの方がいらっしゃって私もびっくりしました。この多目的室が本当にいっぱいだったということです。

昨日流行語大賞の発表がありました。聞いていて知らない言葉がたくさん出てきたので驚きました。チャッピーとかチョコミントとはなんだろうと、知らない言葉がいっぱいあり、高齢者にはついていけないと感じています。世代を超えて分かるものがなくなってきていると思います。

例えばニュースでもスマホで見ていると、リコメンド機能というのがあり、1回検索するとそれに関連するものがどんどん表示される。そうした機能がかえって私たちの世界を狭めているのではと感じます。自分にとって心地よい情報とかニュースなどに囲まれて、いろんなものを見たり聞いたり考えたりしているので、自分に心地よい話題に囲まれて過ごすことが増えています。図書館は正反对で、いろんなものに出会う場所だと思っています。そうした形で図書館が皆さんに様々な広がりを感じさせるような場所であってほしいと思います。

本日はよろしくをお願いします。

3 教育部長あいさつ

本日は、ご多用の中、守山市図書館協議会にご出席賜り誠にありがとうございます。また平素より図書館運営、読書活動推進につきまして多大なご支援、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

図書館では、協議会委員の皆様のご意見を頂戴いたします中、図書館利用者の利便性快適性の向上に向けまして様々な取組を進めているところでございます。そうした中、6月より土曜・日曜・祝日等における学習コーナーの2部制を開始し、あわせて貸館利用のない場合に集会室を開放し、より多くの方々にご利用をいただいているところでございます。おかげをもちまして、夏休み期間も猛暑の中、毎日たくさんの来館者でにぎわいました。

本館では、理系専門分野講座「正多面体から広がるかたちの世界」やビブリオトーク「あなたのおすすめ本おしえてください」を開催し、親子でのご参加をはじめ、幅広い年代の方にご参加いただき、ご好評を得ることができました。

北部図書館では、「こわーいおはなし会」や「夏休み一日子ども司書」などを実施し、子どもたちに楽しいひと時を過ごしていただくことが出来ました。

また、「戦後80年・守山市平和都市宣言推進事業」の関連行事として、夏休み平和映画会を開催し、両館において平和図書の展示を行い、市民の皆様とともに平和への思いを新たにさせていただきました。

今回の図書館協議会では、図書館業務の進捗状況や利用状況、今後の課題等をご報告さ

せていただきます。

本日も、本好きの子どもたちや、市民を増やし、読書日本一のまちづくりにつなげていくことができるよう、委員それぞれのお立場からご意見をお伺いできればと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

<事務局>

神藤部長ありがとうございました。

それでは、お手元の名簿をご覧ください。

本日は、残念ながら久米委員、岡田委員、高橋委員、今関委員に関しましてはご欠席の連絡を受けてございます。

本会議の成立要件にある委員の半数以上がご出席いただいておりますことにつきまして、併せてご報告させていただきます。

続きまして資料の確認ですが、机の方に追加の資料3枚を置かせていただいております。ひとつは高橋委員からの意見をいただいたもの、図書館協議会交流会、わくわく図書館まつりについてです。こちらにつきましては後ほどまたご説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日の傍聴の申し込みにつきましては、ありませんので、そちらもご報告させていただきます。

4 議事

(1) 報告事項

<事務局>

それでは議事の第1号報告事項に入らせていただきます。

これよりは、守山市図書館協議会規則第2条第3項によりまして、会長に進行をお願いしたいと存じます。

岸本会長、どうぞよろしくお願いいたします。

<岸本会長>

それではお手元の次第に従いまして、本日の協議会の議事を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

報告事項ア「令和7年度守山市立図書館業務報告について（4月1日から9月30日まで）」、事務局より説明をお願いいたします。

<事務局>

資料に沿って説明【資料1、2、3】

<岸本会長>

ありがとうございます。ただいまの説明について、ご意見ご質問があれば挙手をお願いします。

<原田委員>

このタイミングでお話することかどうかはわからないのですが、どなたの発言もないようですのでお話しします。図書館以外でも、地域の小学校ではなしボランティアをしています。他に十数人おりますが、ボランティアから意見が出ました。高学年に対するお話を今までしていなかったが、今年はやりたいということです。年明け1月に6年生5クラスしようと日程調整しています。授業の調整か、ボランティアの力量の問題かわからないですが、なかなか高学年までお話会をするのが難しい状況です。6年生に向けた本をどうやって選ぶのが難しいですが、とりあえず1回今年頑張ってやってみようという話がボランティアからあがりました。これができれば来年度以降、5年生に広げていけたらいいなと思っています。今は1・2年生を中心にやっているのですが3・4年生にも広げていけるような活動になればいいと思っています。実際は、学校行事があったり、駅前の小学校なので、クラス数が多くて参加できるボランティアがいなかったり、そのあたりも難しいことはあります。それでも高学年にも読書の機会をと考えています。

<岸本会長>

ありがとうございます。

先ほど資料2のところで、子どもの読書活動の調査についてですが、他市町に聞くと児童がクロームブックで回答しているということです。守山市はどうでしょうか。

<事務局>

小学校中学校での1か月に読んだ書籍の平均者数については昨年度から調査方法が変更しています。一昨年までは児童が挙手をして数を数えていたが、電子での回答に変わっています。基本的に学校側が回答しているので、具体的にどうしているかは各学校によって違うと思います。

<岸本会長>

小学校の不読書率は45%ということですね。他の市では0%になっています。ここ何年かずっと0%で、全員読んでいるという話です。朝読書で読んでいるからかと思ったらそうではないということでした。クロームブックで回答しているので、全然先生方が関知せず、子どもが全員読んだといっているそうです。県の平均とか近隣の市町村の状況などで比較しながら少しデータを確認していただきたいと思います。

<佐伯副会長>

原田委員のお話で、学校での読み聞かせで、高学年がなかなかできないとありましたが、私が行っている学校でも以前は1から6年まで平均して教室に入ってお話会をしていたが、コロナが終わって、ここ数年変わってきています。学校が忙しくなって、なかなか入れないようになりました。立入が丘小は年間2回のみ、高学年に入れるが、ボランティアの誰がいくかといとなかなか人がいない状況です。どんな本を読んだらいいのか迷ってしまうという声があります。高学年にもしっかり絵本を届けたいと思っているので、原田委員

の行かれている学校でぜひうまくいったら、どうぞやってほしいなと思います。

<岸本会長>

授業の中で時間がとりにくいということですか？

<原田委員>

朝の会が終わってからの 15 分くらいの時間をいただいています。そもそもボランティアの数が少ないので、1 年生から 6 年生までまんべんなくやると、月曜の朝時間をもらっていますが、1 学期でみても回数がたりないです。ですので、現在は重点的に 1 年生のお話会をしましょうとなっています。以前は 6 年生もしていましたが、佐伯委員がおっしゃっていたように、どういう内容のものが 5・6 年生に向いてるのが、読み手も自信がないということもあります。他のボランティアさんからは、川端誠さんの落語絵本シリーズとかいいのではないかというお話も出たんですけど、他の方の意見を聞こうと思って今日持ってきました。『ウェン王子とトラ』とかも今年クマの被害があって、人間の生活地域と野生動物の生活エリアとを、どういうふうに折り合いをつけていったらいいのかなみたいなのがあったりするのかと思っています。あと、他人と自分を比べてしまうが、自分は自分の良さがあるよというテーマで『とんでもない』とか選んでみました。

<事務局>

本の相談は図書館司書まで聞いていただけたら相談にのります。他のボランティアの方々にもぜひ図書館司書に相談いただければと思います。私達も守山北高校にお話会に行かせていただいて、高学年と高校生ではだいぶ違いますが、そういった経験もある職員も多いので、そういう相談があるということを職員全員に周知いたします。ぜひこちらも勉強させていただきますのでよろしくお願いします。

<岸本会長>

結果についてもまたフィードバックしてもらえたらと思います。

ひとつ確認したいのですが、「資料 1」6 頁、図書館の草抜きについて、本当にこれだけ来てくださっているのでしょうか。ありがたい話です。

<事務局>

団体で参加される方や、個人で参加の方も多いです。いつもスタジオを使わせてもらっているのと、隣の病院の看護師さんとかがお世話になっていますといって草抜きをしてくださっています。

<岸本会長>

ありがたい話です。草抜きだけのために、暑い中わざわざ来てくださっているのだと思っています。

他に特にないですか。

<佐伯副会長>

草抜きについてですが、私も好きなんです。参加させてもらっています。自分でエリアを決めておいて、抜いた分だけ山になって、達成感があって好きです。

<岸本会長>

草抜きは私も好きです。あれだけ達成感のある仕事はないと思っています。

続きまして、報告事項イ「令和7年度守山市立図書館利用状況について」、事務局より説明をお願いいたします。

<事務局>

資料に沿って説明【資料4、5】

<岸本会長>

ありがとうございます。

ただいまの説明について、ご意見ご質問があれば挙手をお願いします。

<佐伯副会長>

来館者数、説明を聞いたのでわかりました。暑さというか、今年の猛暑はいろいろこたえてるんですね。命に危険が及ぶような暑さだったので、私も高齢者ですが外に出るのをためらいましたから、そういうのが数に表れているということが今の説明を聞いてよくわかりました。

ありがとうございます。

<岸本会長>

9月に栗東市立図書館での職員研修に講師として呼ばれ、そこで話がでたのですが、8月に予約した人が、暑くて行けないから予約をキャンセルしますという連絡が何本かあったそうです。それだけ暑かったということで、なかなか図書館まで足を運べなかったようです。来館者数が減少するのは当然のことだと感じます。

他いかがですか。

<真弓委員>

資料3の学校司書が関わる数ですが、これは何人でまわっているのですか。

<事務局>

市内13校に対し7人の学校司書を配置しています。中学校4校に2人、小学校9校に5人です。基本的には1人2校を担当していて、小学校は1人だけ1校担当で、他の忙しくて仕事が大変な学校にサポートに入るという形で配置しております。忙しいとき、例えば速野小学校が7月に校舎の建て替えで、図書館の引っ越し作業があったので、手伝いに行くというようなことをしています。過去にも河西小学校で図書室の移動があり、手伝いに行くなど、フレキシブルに動くというような形でしています。

<真弓委員>

理想としては各校に1名いるのが一番いいと思います。日本一をめざすには各校1名ずついるのが当たり前だと思います。

<事務局>

県内の状況としては野洲市と甲良町が新しく学校司書が配置されました。それで、県内の全市町に学校司書が配置されたことになります。県全体として一歩前進したところです。

<佐伯委員>

学校司書がはいると、学校図書館の運営がとてよくなります。学校の担当教員と連絡を密にして、学校全体として取り組んでもらうと効果が上がると思います。教員が忙しくなかなか学校司書と話をする時間が取れないと聞いたことがあります。ただ、ここでストップしないで、各校1名入るように、教育委員会も頑張ってもらいたいと思っています。

あと、学校司書は資格をもっていますか。

<事務局>

司書資格または司書教諭の資格をもっている者がいます。図書館でも司書として働く上でのサポートはしています。

<梅景委員>

学校司書が学校に1人いるのは非常に大きなことだと思います。10分の休み時間でも図書室が空いていれば、授業の合間にくる子もいます。週2日で増えたと思うが、1日いるというのと、この時間はいるというのとでは大きく違ってきます。生徒が気楽に行けるという環境が必要だと思っています。

6月の新聞にも載っていたが、これまで学校司書の配属がなかったのが野洲市と甲良町です。ここに採用が入ったということで、随分と変わってきたということが書かれていました。

学校司書の勤務時間が少しでも増えるようにお願いしたいと思っています。

<岸本会長>

ありがとうございます。

実際、滋賀県の学校図書館の状況は、ようやく全部の市町村で配属をこぎつけたところなので、まだまだ先が長いと思います。学校図書館は学校図書館法では学校の教育課程に関わっていくことです。教員と司書とが話をしながら学校図書館が何をできるかということを考えていかなくてははいけません。長い目で見ながら変わっていけばいいと思います。どう充実させていくか、これからの課題です。

他になれば、ご欠席の今関委員から手紙をいただいています。

ひとつはまず、紙芝居をしているが（サポート隊事業）、資料1でその他のところになっているのはなぜですか。

<事務局>

図書館にもお手紙をいただき、その時に直接今関委員にもお話しましたが、すべてあげるのには難しいため、図書館主催と共催に限って掲載しています。図書館サポート隊行事は、半年間で82回ありました。1年間通すと160回ぐらいにはなるため、全て上げるというのは難しいため、掲載していません。

<岸本会長>

2つ目は学校図書館のこと。今関委員が市長への手紙で質問し、返事はきたが具体的なことは何も書いていなかったようです。多くの方が学校図書館の充実がまだまだだと思っていると、市長へ届けばと思っています。

3つ目は、数値のことです。来館者数が減っているところが、もっと伸びてほしかったが残念という意見をいただきました。

もうひとつ、高橋委員からの意見書については事務局から紹介してもらいます。

<事務局>

今回欠席の高橋委員から意見書という形で会長に提出されました。内容については、簡単に言いますと児童の図書が古いので、充実のために買い替えのためのクラウドファンディングをしてはどうかというご提案でした。

貴重なご意見ではございますが、守山市としてはふるさと納税をしており、図書館もその対象になっております。図書館を選んで、ふるさと納税をされますと、貸出カードと読書通帳をお渡しするのですが、どこに寄付をしたいかを選ぶところがあり、そこに読書日本一のまち応援事業というところがあります。令和6年度223件の申し出があり435万2千円というお金が資料費として一部が充当されております。ですので、すぐに寄付でクラウドファンディングというような形ではちょっと実施しにくいかなと図書館としては考えております。

古いというご指摘については、再度本を点検していきます。ただ、古くてもきれいな本もあります。10年と書かれていますが、使用に耐えうる本は利用を続けています。すぐに捨てるのではなく、ある程度は大事にして使おうねというメッセージを込めながら、修理して使ったりはしています。状況をみながらしっかりと児童書の点検をしていこうと思っています。

<岸本会長>

このことについて意見はありますか？

特に意見がなければ高橋委員に協議会で諮った旨をお伝えください。

一昨年、草津市が開館40周年記念で予算を別につけて児童書の買い直しをしたそうです（令和5年度絵本等リニューアル事業）。児童書で読みつがれていくのは、どうしても傷んでくるので、かなりの数を新刊で買い直しされていました。児童書はある程度買い直しも必要かなと思います。

本日の議題はここまでですが、皆様のご意見、広くお伺いします。

<小村委員>

報告ありがとうございます。

未就学児はいつも言っていますけれど、日常に絵本とかお話があふれている状況でいつも過ごしています。やはり年齢が上がるにつれて本から離れていく子どもたちがいるのかなというところも今日のお話の中であつたので、それをどう食い止めていくか考えていかなければいけないと感じました。

子どもたちは園にいる時間が長いので、いろんな先生に絵本を読んでもらったりとかすることが多いのですが、それが当たり前だと思わずに、ずっと続いていくようにできることを考えていきたいなと改めて感じました。

<寺井委員>

小学校担当の委員の方が来ていないので、学校を代表して学校図書館のこと話します。僕が新任教師の時代、まだ守山市には学校司書はいませんでした。先ほどから出ている司書教諭は学校図書館法で、中規模以上の学校には1名以上つけるというルールがあります。実際は市内13校の中で、司書教諭の免許を持っている教員が4人ぐらいいる学校と1人しかいない学校がありました。司書教諭ではなく、図書委員の先生と司書が関わるのが一般的です。守山市ではリーマンショックの後に緊急雇用で学校司書が入りだしました。そこから少しずつ増えていきました。当時は図書館ではなく生涯学習課で採用していました。僕の中ではだいぶ進化しています。昔に比べたら図書館の雰囲気が変わると思います。本校では、放課後開館も始めているので、本好きの子は行っています。

連携とおっしゃっていたのですが、図書委員の先生が例えば担任を持っていたりすると時間がとれませんが、本校は担任を持っていない先生を担当にしているのでやり取りがしやすくなっています。担任を持っている先生だとやり取りは難しいです。学校司書の雇用が始まったときは資格もいなかったし、現在の状況はよくなっていると感じます。このあとは予算取りを頑張ってもらって1人1校になったら言うことなしだと思います。

<梅景委員>

感想になりますが、暑かったから入館者数が減ったというお話はなるほどと思いました。守山北高校は暑いときは涼みに図書館にくることがあります。教室にもエアコンはついていますが、密集していて暑いので、図書館にやってきます。最近になって寒くなってくると廊下に出るのもおっくうになる。そうすると図書館へも来なくなります。気温によって変動するのは同じだと感じました。

鮮度のある資料をそろえるのはやはり大事だと思っています。読み継がれている本は、やはり焼けてしまっで見栄えが悪く、生徒もなかなか手にとらないです。それを買いなおすとフォントが更新されていたり、読みやすく手に取りやすくなっていたりするので貸出されます。予算との兼ね合いにはなりますが、鮮度は大事だと思っています。

<原田委員>

おはなしボランティアをいろいろしています。園で驚くのが、1, 2歳児でもお話を聞

く姿勢ができています。とても読みがいがあります。園でそれだけ絵本に対する取組がされているんだなと感じています。

昨晚、図書館がらみのエピソードがテレビでありました。ある女性が夜道で牛乳瓶を拾い、そこに牧場の名前と連絡先があったので、どこの牧場だろうと、調べるために図書館に行きました。牧場を調べるにはどうしたらいいですかと図書館へ調べに行ったということです。ネットで調べるのではなく、それを図書館に行き、司書にどうやって調べられるのかと言ってもらえる関係性がとても素敵だと思いました。読書日本一のまちを目指すとはこういうことかなと思います。

<山田委員>

私は専門が視聴覚関係団体ですので毎回思うのが、本とはちょっと縁が遠いということです。今年はクラブの事業として小津神社の祭りのビデオ撮影に8年ぶりにいきました。小津神社の祭りは8年ごとに回ってきます。役員も8年毎に当番が回ってくるので、8年後に今年経験した役員がまだおられるかわかりません。文書や写真だけでは所作がわからないので、クラブで動画を撮っています。2人で撮って約10時間になりました。今年は杉江町の祭りも撮影しました。編集して図書館には2時間半と1時間半にまとめて物を渡していますので、興味のある方はぜひ御覧ください。

<村瀬委員>

2点申し上げます。今年になってテレビで東京の図書館の様子が紹介されていました。親子で利用されている様子が紹介されていて、ぜひ守山市もどこかでPR動画を流せないかと思っていました。

もう1点は、玉津学区に住んでいますが、公民館の中で地域に伝わるお話とか昔話とかを紙芝居で小学校の子どもたちに月1回お話会をさせていただいています。月1回なんです。学校側との対話がないと難しいことがあります。月1回の予定に、学校行事が入ってしまうとお話会はなくなってしまいます。地域の昔話を知ってほしいという気持ちがあるのに残念です。先生方、受け取り側がどういう思いでいるのか、しっかり話さないといけないと感じています。お話会も先生によって、子どもと一緒に聞いてくれる人もいれば、テストの丸付けをしている人もいます。私たちの思いもしっかりと学校に伝えないと駄目だと感じました。

<真弓委員>

県の子ども文庫連絡会をしています。一般にも公開していますが、近年参加者が増えません。今年度は一般の参加者が多くて、7月は写真絵本をテーマに開催しました。参加者は孫も手をはなれたという世代が多かったです。皆さんとても生き生きとしている様子でした。自分たちは子どものためにやっている活動ではあるが、視野を広げてそういうのもありかと思っています。中川李枝子さんの『いやいやえん』のお話会をしたが、やはり大人の参加が多かったです。今年はちょっと転換期かなと感じています。

<田中委員>

図書館というのは公共施設がたくさんある中で、市民が一番気楽に利用できる施設と思っています。私も70歳を超えて、いろんなことを相談するとか、病気の予防とかを学ぶ中で、病院でもセミナーなどをされていますが、病院で聞くよりも身近な場所で図書館の誰もが利用しやすい場所でそういう話を聞けるというのがいいなと思います。

こうした意味でも、8ページに記載の「7 医療機関との連携」は大変良い取り組みだと評価します。

図書館は情報発信だけでなく、ボランティアとかいろいろな人が集まって何かを始める場所でもあり、そういうことができる場所と思っています。また街づくりの拠点となるような場所でもあります。商工会議所も以前図書館で創業塾をしておりましたが、市役所が新しくなり広い駐車場もあるため、最近は市役所の多目的ホールで開催しておりますが、図書館とはこれからも何か連携して事業が実施できないか、考えていきたいと思っています。

<浅田委員>

私自身年を取って図書館にくるのも大変になりました。河西ニュータウンに住んでいて、ニュータウンというが、高齢者が多いです。何か始めたいと思っても高齢者同士、何かきっかけがあればいいと思っています。高齢者のことも皆さんで考えていただきたいと思います。

<佐伯委員>

図書館の応援隊としての図書館友の会ができ、3年目くらいになりました。最初はお互いがこんなことをしていますと知り合いに声をかけ、次の年は岸本会長に来ていただいて図書館の勉強をしました。その中で1年に1回は催し物をしたいということで、今年は映画会を開催しました。計画したときは90人くらいかなと準備していたが、当日は120人参加がありました。90分のドキュメンタリー映画で、ボランティアとは何かと、あり方を考え直すいいきっかけとなった映画でした。主人公は近江八幡市出身の栗本さんという方で、カンボジアに行って寺子屋をたてて多くの子どもたちの支援をされています。大成功に終わって達成感を味わわせていただきました。その時に図書館が支援してくれたので、これからも手を組んで何かできたらと思います。

<岸本会長>

守山の図書館友の会が刺激となって、湖南市、甲賀市も友の会ができています。住民の方が図書館と何かしようと活動が広がっています。

他にご意見はありますか。ないようでしたら、次第の5その他の項目、事務局からお願いします。

6 その他

<事務局>

本日は、皆様より貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

次回、今年度第3回目の図書館協議会の開催については2月5日（木）午後2時からを予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

<岸本会長>

それでは本日議事運営に協力いただきましてありがとうございました。様々なご意見いただきまして、誠にありがとうございました。

それでは進行の方事務局にお返しします。

7 閉会

<事務局>

岸本会長、委員の皆様、大変ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第2回守山市図書館協議会を閉会いたします。

本日は、誠にありがとうございました。

以上